

八戸工業大学同窓会 新会長挨拶



福士 信雄

このたび、同窓会会長を12年間高い志と情熱を持って務められた白川会長の後を引き継ぎ、同窓会会長の任をお受けすることとなりました福士信雄でございます。就任にあたりましてご挨拶をさせていただきます。

私は電気工学科2期の卒業で、電気工学科の同窓会である水交会の会長、同窓会の副会長を務めておりました。

勤め先は桜総業株式会社(本社:神奈川県横浜市)で、この3月に代表取締役社長に就任しました。事業内容はワイヤーハーネス加工と基板表面実装加工が主で、主力は液晶用バックライトハーネス加工、極細同軸ケーブル加工、フレキ基板実装加工、リチウム電池関連基板実装等を中心に先端技術に取り組んでおります。また最近ではLED照明関連に力を入れており、特にLED蛍光灯直管タイプではOEM、ODM、自社ブランドを合わせて年間100万本以上の生産実績があります。青森県内には八戸市(青森工場)と五戸町(五戸工場)があり、他に白河工場、岡山工場、海外では中国の深セン工場、上海工場、江西工場があります。

これまで、青森工場の統括と営業の仕事で頑張ってきました。目標を持って熱意と行動で頑張れば必ず道は開け、また課題の解決には何より人脈が重要なことを痛感してきました。

現在の自分は八戸工業大学の諸先生方の熱意あふれるご指導と、同窓生を核とした人脈があったからだと深く感謝しております。

昨年、省エネルギー照明機器の開発製造により栄誉ある「第1回八戸工業大学工業技術貢献賞」をいただきました。

これまでのご恩に報いるためにも甚だ微力ではありますが、会長をやるからには全力で頑張りたいと思っています。

活動の目標として会員相互の親睦をさらに図るためにメールアドレスなど時代に対応した連絡網の整備と、母校の発展に貢献するための体制を整えて行きたいと考えております。

会員の皆様のご協力をお願いいたしますとともに、ご活躍を心より祈念いたしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第13回「八戸工業大学同窓生の集う会」および「支部総会」案内



八戸工業大学は昨年創立40周年を迎えました。卒業生・修了生は17,200名を超え、国内はもとより全世界で幅広い業種にわたって活躍されています。

本年も下記の通り八戸工業大学同窓生の集う会および支部総会を開催いたします。

八戸工業大学同窓生の皆様、是非この機会を利用して、同期の友人はもちろんですが、先輩や後輩の方々と交流・親睦を深めていただき、人脈を広げる場としてご活用ください。もちろん大学教職員も参加しますので、懐かしい話題や、近況、現在の大学の様子などの情報交換の場としてもご活用ください。

第13回「八戸工業大学同窓生の集う会」

日時:平成25年10月5日(土) 17:30~
場所:八戸グランドホテル 八戸市番町14 TEL 0178-46-1234

会費:5,000円
申込先:dosokai@hi-tech.ac.jp(同窓会本部事務局宛)

参加申し込み
電子メールに「参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号(ご存知の方は学籍番号もお願いします)を記載して同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)、またはそれぞれの支部申込先へお申し込みください。

同封のフリーアクセス用紙でもお申込みいただけます。

関東支部同窓会のご案内

日時:平成25年9月14日(土) 17:00~
場所:八重洲富士屋ホテル

東京都中央区八重洲2丁目9-1
TEL 03-3273-0225

会費:6,000円(女性、直近3年間の卒業生は割引あり)
申込先:dousokai_kanto@yahoo.co.jp

(同窓会関東支部事務局長 大越宛)
締切:平成25年9月7日(土)

東北支部同窓会のご案内

日時:平成25年9月28日(土) 17:00~
場所:レオパレス仙台 地下1階ホール

仙台市宮城野区榴岡4-6-28
TEL 022-706-0001

会費:5,000円
申込先:s.narasaka@eco-1s.co.jp

(同窓会東北支部事務局宛)
締切:平成25年9月20日(金)

秋田支部同窓会のご案内

日時:平成25年10月26日(土) 18:30~
場所:協働大町ビル 秋田市大町三丁目2-44

TEL018-863-2111
会費:5,000円

申込先:m-kikuchi@akita-sousin.or.jp
(秋田支部幹事長 菊地雅敏宛)

締切:平成25年10月18日(金)

北海道支部道南部会同窓会のご案内

日時:平成25年12月14日(土) 18:30~
場所:ホテル函館山 北海道函館市元町19-1

TEL 0138-23-7237
会費:5,000円

申込先:h-yama@yk-teito.co.jpまたは
eng-architect@docomo.ne.jp

(道南部会事務 山本浩道宛)
締切:平成25年11月30日

北海道支部道東部会同窓会のご案内

日時:平成26年3月予定
詳細が決定次第同窓会報HPでお知らせします

第19号
8月発行
八戸工業大学
同窓会本部事務局
TEL:0178-25-8027
FAX:0178-25-3827
印刷・編集 同窓会事務局

HAMS(メールマガジン)会員登録のご案内

登録手順1 仮登録
普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。
hams@alumni.hi-tech.ac.jp
登録手順2 本登録
空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



※各同窓会とも大学から多数の教職員が参加する予定です。詳しくは同窓会HP(<http://alumni.hi-tech.ac.jp/>)にてご確認ください。

※未定情報や補足情報は随時大学同窓会HPでお知らせします。

※各支部同窓会への参加申し込みは、同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)でも受け付けます。

平成24年度八戸工業大学同窓会事業報告及び収支決算報告

平成24年4月1日～平成25年3月31日

事業報告

<本部>

月 日	事業内容
平成24年 6月23日 (土)	定例代議員会
平成24年 8月11日 (土)	工大二高同窓会納涼パーティー
8月中旬	同窓会報 (第17号) 発行
平成24年10月 6日 (土)	第12回同窓生の集い
平成24年10月 7日 (日)	定例理事会
平成24年11月17日 (土)	工大一高同窓祭
平成24年11月30日 (金)	工大グループ同窓会連絡会
平成25年 3月19日 (火)	定例理事会
平成25年 3月19日 (火)	学位記授与式
平成25年 3月19日 (火)	同窓会便覧発行
平成25年 3月19日 (火)	卒業記念品贈呈

<支部・分会>

月 日	事業内容
平成24年 4月20日 (金)	水交会役員会・懇親会
平成24年 5月12日 (土)	関東支部役員会
平成24年 6月 4日 (月)	秋田支部役員会 6名 出席
平成24年 7月 7日 (土)	北海道支部総会
平成24年 9月 1日 (土)	関東支部役員会
平成24年 9月 8日 (土)	関東支部総会
平成24年 9月 8日 (土)	シビル会・拓北会合同会議
平成24年 9月29日 (土)	東北支部総会
平成24年 9月29日 (土)	道南分会総会
平成24年10月 4日 (木)	シビル会 施工技術見学会
平成24年10月 6日 (土)	シビル会同窓会
平成24年10月 6日 (土)	うみねこ会役員会・幹事会・懇談会
平成24年10月 6日 (土)	感性デザイン同窓会役員会・懇親会
平成24年10月20日 (土)	秋田支部総会
平成24年12月 1日 (土)	関東支部役員会
平成25年 1月 9日 (水)	シビル会・拓北会合同会議
平成25年 1月30日 (水)	シビル会・拓北会合同会議
平成25年 2月10日 (日)	感性デザインフェスタ参加
平成25年 3月23日 (土)	北海道支部道東分会総会

決算報告

一般会計

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
会 費	5,400,000	5,240,000	△ 160,000
会報協力費	600,000	409,020	△ 190,980
広告収入	150,000	60,000	△ 90,000
雑収入	40,000	61,485	21,485
前年度繰越金	9,208,265	9,208,265	0
計	15,398,265	14,978,770	419,495

支出の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
会 議 費	200,000	162,327	△37,673
旅費交通費	800,000	663,800	△ 136,200
印 刷 費	1,500,000	1,937,093	437,093
通 信 費	900,000	71,605	△ 828,395
支 部 関 係	1,350,000	1,004,126	△ 345,874
運営費関係	50,000	5,144	△44,856
分会助成費関係	1,400,000	387,346	△ 1,012,654
業務委託費	300,000	87,000	△ 216,000
積 立 金	0	0	0
慶弔費関係	300,000	166,680	△ 133,320
予 備 費	8,598,265	154,195	△ 8,444,070
計	15,398,265	4,636,316	△10,761,949

収入総計 (決算額) - 支出総計 (決算額) = 次年度繰越金 10,342,454 円

特別会計

収入の部

項 目	本年度予算額	決算額	差 異
当期積立金	1,000,000	0	△1,000,000
前年度繰越金	19,000,000	19,000,000	0
計	20,000,000	19,000,000	△1,000,000

平成24年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

平成24年6月19日

監事 千葉 兼喜
監事 石藤 千春

平成25年度・定例代議員会報告

平成25年6月15日(土)、八戸パークホテルにおいて平成25年度定例代議員会が開催されました。第1号議案では、環境建設工学科(旧土木工学科)と建築工学科を募集停止し、新たに設置された土木建築工学科からの第1期生を受け入れる組織について、シビル会と拓北会間での協議内容について報告があり、シビル会と拓北会が「(仮称)土木建築工学科同窓会」のもとに統合し一本化することが承認されました。なお、新同窓会の初代会長にはシビル会会長の夏堀大司氏(土木工学科、昭和58年度卒)が就任し、副会長には拓北会会長の高橋和雄氏(建築工学科、昭和55年度卒)が就任すること、新同窓会の名称は公募して決定することなどの報告がかわせて行われました。

第2号議案では、改選期を迎えた役員の出選が行われました。新会長として富士信雄氏(電気工学科、昭和51年度卒)、新副会長として淺利能之氏(電気工学科、昭和51年度卒)、新監事として左館直樹氏(機械工学科、昭和57年度卒)、夏堀大司氏(土木工学科、昭和58年度卒)、理事として関東支部長に就任した古館仁氏(機械工学科、平成10年度卒)が選出されました(役員名簿は別表参照)。なお、これまで長年にわたり同窓会を支え、活性化にご尽力いただいた白川直人氏(前会長、建築工学科、昭和54年度卒)、工藤嘉範氏(前理事、土木工学科、昭和54年度卒)、石井博規氏(前理事、前関東支部長、土木工学科、昭和57年度卒)、石藤千春氏(前監事、土木工学科、昭和54年度卒)、千葉兼喜氏(前監事、機械工学科、昭和54年度卒)は今期で退任されることとなりました。

第3号議案では、平成24年度の事業報告ならびに決算、あわせて分会・支部の決算額について報告があり、その後監査報告を受けて承認されました。第4号議案では平成25年度の事業計画と予算案の説明がありました。なお、第1号議案で承認された「(仮称)土木建築工学科同窓会」に対する分会助成費を10万円増額する提案があり、協議の結果この提案を了承し、当初提示の予算案を修正して承認されました。

なお、代議員会における議案は次に示すとおりです。
 第1号議案 八戸工業大学同窓会の組織について

(土木建築工学科卒業生の入会によるシビル会と拓北会の対応)

第2号議案 役員改選について

第3号議案 平成24年度同窓会事業報告及び決算に関する件

第4号議案 平成25年度同窓会事業計画及び予算に関する件

【役員名簿】

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	富士 信雄	昭和51年度	電気
副会長	淺利 能之	昭和51年度	電気
副会長	齊藤 克治	平成14年度	システム情報
理事	下館 政美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	浜部 弘毅	昭和60年度	エネルギー
理事	掛端 英二	平成2年度	エネルギー
理事	榎本 匡将	平成17年度	システム情報
理事	嶋守 涉	平成20年度	感性デザイン
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事(北海道支部)	西岡 邦夫	昭和54年度	産業機械
理事(秋田支部)	菊地 雅敏	平成4年度	土木
理事(関東支部)	古館 仁	平成10年度	機械
監事	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木

平成25年度 第11回北海道支部同窓会

平成25年7月13日(土) 18時30分から、ホテルモントレ エーデルホフ札幌において第11回北海道支部同窓会が開催されました。

当日は3連休初日ではありませんでしたが、新同窓会長の富士信雄様をはじめ、同窓生、大学教職員あわせて40名と多くの参加者を迎えて盛大に開催することが出来ました。富士新会長の挨拶や大学からの現状報告など次第

に沿って粛々と会は進み、乾杯と同時に場は一気に和み会場のあちらこちらから笑い声の絶えない和やかな雰囲気での同窓会となりました。

余興では、北海道では知る人ぞ知るマジシャンのやまちゃんによるマジックショーと永田宴会部長司会による3分スピーチ大会がが練り広げられました。特にマジックショーでは、北海道名物?のマリモツコリに扮したやまちゃんが、マジックのネタを解き明かそうとする鋭い視線や、細かなボケへの容赦ないツツコミを相手に、会場を笑いに包みこみながら数々のマジックを披露してくれました。

例年に違わず、学科や世代を超えて大いに盛り上がった同窓会は、あつという間に時間が過ぎ去り、最後に皆で校歌を歌い、記念撮影をしてお開きとなりました。支部総会に参加して下さった同窓生の皆様、また、お忙しい中参加いただいた大学教職員に對してお礼を申し上げます。

この12月には道南部会(函館)で、来年の3月には道東部会(帯広)でそれぞれ総会を開催する予定となっています。また、来年度の北海道支部同窓会は平成26年7月12日(土)に開催する予定です。多くの同窓会会員の参加を心よりお待ちしております。

八戸工業大学同窓会北海道支部長
 西岡 邦夫



蒼峰会 活動報告

「感謝と使命感」

八戸工業大学第一高等学校 三塚 心輝

平成25年3月、離任式。地元宮城県の公立中学校で、たくさんの生徒達が涙で見送ってくれたことを一生忘れられない。何事にも一生懸命な生徒達と温かい保護者の方々に恵まれ、学級担任、教科指導、ソフトテニス部顧問など、充実した5年間であった。義務教育の現場での経験を今後に生かしたい。

4月、八戸工業大学第一高等学校に採用していただき赴任した。新たな社会人、高校教師としての決意と希望を胸に、大学時代を過ごした第二のふるさと八戸市に6年ぶりに帰ってきた。現在は、高校の教育活動に合わせ、学校の寮（志学寮）の舎監も勤め、50名の部活動に燃える生徒たちと共に暮らす毎日である。

八戸工業大学在学中には、私の人生の中で大きな財産となるものを得ることができた。

まず、「教員免許（高校工業・中学技術）」である。高校3年生の時、父に「教員免許を取得して学校の先生になりたい。中学校と高校の免許2つを同時に取得できる八工大に進学したい。」とお願いをした。親元を離れての一人暮らし、一つ上の姉も大学生であり、金銭的にも大変な負担であったと思うが、進学させてもらった。母親はパートをして、私に小遣いを送りつけてくれた。教職の講義は、機械科の講義が終わってから夕



方遅くに行われたが、夢である教師の仕事について学ぶことはとても興味があり大変勉強になった。

次に、「たくさんの人との出会い」である。学生時代には多くの友人と貴重な時間を過ごした。今、社会人として全国各地で頑張っている友人たち。遠く離れているが、いつまでも八工大の仲間であることを思い、それぞれの環境で頑張っていきたいものである。また、東北大会で勝つことを目標にソフトテニスの活動にも力を入れた。そのような中で、的確な指導と温かい人柄の寺井監督、幾つになってもソフトテニスに親しみ愛する八戸協会の方々、大会や強化練習会などでお世話になった青森県連盟の方々との出会いがあった。考え方や行動すること支え合うことや感謝すること、熱く戦うことや情熱をもつて生きること、人生において大切なことを学ばせてもらった。

今の私があるのは、学校法人八戸工業大学、出会った多くの方々、両親のおかげであり感謝している。これから先、八戸工業大学第一高等学校の教師として働くことで恩返しをしたい。そして、これから出会う多くの生徒達に、将来に生

きる知恵や力、夢や希望を与えたい。「教育は人なり」という言葉があるように、私自身が内面的にも磨き人間成長を続け、教師の仕事に責任と誇り、強い使命感をもち努めていく決意である。私の地元「東北」の地で。



昭和55年 第5期機械科工学科卒業（小林研究室）
株式会社ムジコ・クリエイト八戸モーターズスクール
千葉 兼喜

現在、株式会社ムジコ・クリエイト（平成25年4月1日社名変更）八戸モーターズスクールに勤務していますが、定年までのカウントダウンが始まっています。日々考えるのは今までの反省とやり残したことはないかということだが、がむしゃらに仕事に追われ家庭を顧みないこともあった自分を時々責めている。しかし、仕事をすると言う事は生きていくためには仕方ないこと（報酬を得る）だが、仕事の誇りはお金では買えない。むしろ、仕事をすると言う事はお金では買えないやりがい。を手にすることができ喜びを感じるのだと思っています。

人生はまさに苦勞の連続です。困難・逆境・苦悩に必ずぶつかります。そのような時、必要なことは「耐える力」です。清の政治家曾國藩（そうこくはん）は大成するためには冷・苦・煩・閑の4項目に耐えなければならぬと言っています。人生がうまくいっていると実感している人でも、うまくいっているのは3割しかなく、7割は思ったとおりにはいかないそうです。しかし、そういう人は7割のうまいかかない状態を肯定的に解釈して、それをバネにして3割のうまいかかない状態をつくりだしているのです。ところが、大事をなすことができない人は、うまくいっていない7割を見て、「なんで、こんな苦しい思いをしなければならぬのか・・・」と思いつつ耐えきれずにいるのです。そうして自分の人生を不幸にしているのだと思います。ですから、いかなる困難に直面しても前向きに耐えていけば自然と道は開けるのだと思います。「耐える力」こそ人生にとって大切なのではないでしょうか。

社会情勢の不安定や日本経済はまだまだ厳しい状態にあります。デフレから脱却して明るい兆しが見えてきた企業もあると聞きますが、県内企業の大半はどちらかというと会社発展というよりは、生き残りをかけている状態です。しかし、このような中でも常にポジティブにそして明るく前向きな行動を送ることができれば楽しい人生を送ることができるのではないのでしょうか。



水交會活動報告

OB・OGだより



平成22年 大学院博士前期課程
電子電気・情報工学専攻修了
(藤田研究室)
現在：株式会社オーバル
研究開発部
田名部 義峰さん

大学院を修了して3年が過ぎました。私は、研究開発部に配属されて以来流量計変換器の開発に携わっています。学生時代はマイコンを使った制御から簡単な回路設計、人工衛星のデータ処理を中心とした研究を行っていましたが、現在はそれらをベースに、さらに高度な技術をOJTで学びながら日々過ごしています。

学生の頃から電子工作が趣味の一つでもあったので、週末には秋葉原に出かけて電子部品などを買集め、趣味と実益を兼ねた回路の設計・製作などを行っていたのが、毎日を過ごしています。

流量計をはじめとするセンシングで必要とされる高精度のアナログ回路設計やノイズ対策は非常に高度な技術を要求される一方で、その軸となっているのは学生時代に講義や実験で学んだ電気回路や電磁気学そのものであることを実感しています。

低コスト、低消費、高性能が要求される現代では、市場からの我々開発者への要求は厳しくなる一方であると感じています。他方、それらを実現するために用いられる基礎的なことは、大学などで学ぶ専門知識に他なりません。私も他の先輩方と同じく、大学で身につけたことを礎に、よりよい製品作りを目指して、これからも取り組んでいきたいと思います。



平成24年 電子知能システム
学科卒(信山研究室)
現在：東日本旅客鉄道株式会社
東北工事事務所
榊 朋大さん

私は学生時代からの希望であった東日本旅客鉄道株式会

社に就職しました。現在は東北工事事務所の仙台電気工事区という職場で監督員として施工管理に務めています。監督員は安全に作業が行われるよう施工会社を指導することや、契約書及び設計図書に基づき機能を満足する設備に施工されているか監督し指示または立会いをすること、また、他系統の関連工事があれば工程の調整等を行っています。現在、私は鉄道の安定輸送には欠かせない信号関係の仕事をしていきます。入社して2年目ですが、新しく勉強することが多く大変です。しかし、最近では自分に任せられた仕事を失敗しながらも覚えることができることに楽しさを感じています。学生時代に身につけた精神力と体力のお陰で夜間作業も楽々とこなしているのが、日々夜まで研究に徹することができた信山研究室で良かったなと思っています。

■同窓生としての抱負



平成25年 電子知能システム
学科卒
就職先：八戸市役所
田端 啓佑さん

八戸工業大学での4年間を振り返ると、多くの経験から成長できた時間でした。大学生という新たな環境のなかで、電気電子工学の専門知識を学びました。また、学園祭などの学校行事では、地域の方々との交流が多くあったため、地域のために自分の専門知識を活かしたいと考える気持ちが強くなりました。

卒業研究では根城研究室に所属し、宇宙機のエンジンであるホール推進機の研究を行い実験データと理論計算の整合性を検討しました。研究では、自分から積極的に取り組みむことの必要性を痛感しました。また、自分一人では解決できない問題も多く、研究室の大学院生や友人と協力しながら、研究を進めていくことができました。卒業後は、社会人として新たな環境での生活がスタートします。大学生活で学び成長できたことを、これからの生活でも活かしていきます。

■学科近況報告



大学院工学研究科電子電気
情報工学専攻主任
工学部電気電子システム学科長
根城 安伯 先生

八戸工業大学水交會会員の皆様、仕事や社会活動などご活躍のこととお喜び申し上げます。私は今年度、電気電子システム学科学科長を拝命いたしました根城 安伯と申します。学科教員の移動としては、昨年学科長をされました川又憲先生が退職され仙台に移られましたことは名残惜しく思われます。私は本学創立から4年目に物理学の担当教員として赴任しましたが、大学院創立時に電気工学科、大学院工学研究科に所属となり講義、実験、研究指導を担当して現在に至っていますが、私は学科に赴任して以来20年以上つと共通に継続している要素と最近になって若干変化している要素があります。平成24年度の就職率は100%を達成しましたが、最近の進路としては電気エネルギー関連企業やエネルギー分野で仕事をしたいと考える傾向が強いことです。その背景には、2年前の東日本大震災を体験したことがあり、その影響を果たしたいと考えているように思われます。水交會の皆様におかれましては、このような若い学生たちの精神的なサポートをしていただければという気持ちもありません。一方、本学大学院工学研究科は博士後期課程までを擁する北東北唯一の大学院工学研究科です。大学院修了学生はすでに数百名を越え、修了学生の進路は教員、研究職、開発職、ソフト開発などに就いています。大学院生の中には学会から表彰される学生が現れるなど活躍しています。このような学生が修了した際に、科学技術のレベルアップに繋がる助言や指針を提ば切磋商磨でき、仕事の効率も高まり、社会へのより一層の貢献が実現できよう。

本学科は大学創立以来40年以上の歴史を経ており大学の歴史とともにあります。これまでの本学へのご協力に感謝いたしますと同時に、今後の更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のお仕事のご発展とご健勝を祈念申し上げます。



最適環境空間を最新の技術でお届け致します。

三宝電機株式会社

URL: <http://www.seamec.co.jp>

各種電気・計装制御・空調衛生・クリーンルーム設備等
総合設備の企画・設計・施工・メンテナンス

東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋3-8-3ラテック新橋ビル5F
TEL.03-5472-3311 FAX.03-5472-0085

シビル会 活動報告

■同窓会開催

2012年10月6日、八戸工業大学同窓生の集う会を開催しました。八戸グランドホテルで行われた第2部(懇親会)では、拓北会(建築系)およびシビル会(土木系)の卒業生および教員など150名が参加しました。

懇親会後には、シビル会(二次会)も開催され24名の卒業生と教員が参加し盛況の内に終えることが出来ました。

2013年3月には、新設学科である土木建築工学科1期生が卒業し、同窓会の新たなメンバーとして加わりました。今後は、C.I.N.I.会・拓北会とともに、新設学科同窓生を加えた新たな同窓会(土木建築工学科同窓会(仮称))を組織し、運営・活動を行っていきます。今後とも同窓会運営・活動へのご協力ご支援をお願い致します。



同窓会 (Civil 会)

■市民向け防災教育イベント「みんなで学ぼう災害に強いまちづくり」東日本大震災から24年

平成25年3月9日、10日に、八戸市ポータルミュージアムはつちを会場として、災害・防災・復興に関する体験学習をおよびパネル展示を開催しました。このイベントでは、津波体験模型、地盤の補強土、液状化および建築物の耐震補強の体験学習、地盤データベースの閲覧、水道管の耐震など災害・防災・



市民向け防災イベント

復興に関する体験学習と、国土交通省、青森県、八戸市、八戸工業大学、八戸高専等の被災・復興・教育および研究に関するパネル展示等が開催されました。両日とも、あいにくの天気でしたが、来場者数は2日間約900名でした。中でも、小中学生が興味深く体験学習をしている姿や、年配者がパネル展示をじっくり見学している姿が目立ちました。特に、屋外で実施となった津波体験模型では、寒い中にもかかわらず防波堤効果を体験し、担当者から防波堤の建設方法などの説明を受け、一般市民には知ることの少ない学習を体験していました。八戸圏域水道企業団から本学学生がデザインした特製ペットボトル飲料水や災害時の飲料水タンクが、青森県建設業協会から防災ハンドブックが、参加者に配付されました。

また3月9日には、八戸市公民館で、八戸南道路開通記念パネルディスプレイが設置されました。これは、「三陸沿岸道路：八戸南道路」が、復興道路の第1号として開通したことを受けて、「災害に強い地域づくり」を考えるために開催されました。東日本大震災の復興・復興において「道路」が果たした役割を検証するとともに、今後の復興・地域活性化に向けた施設の利活用について討議しました。このパネルディスプレイにも約150名の方々が来場しました。

近年、高度成長期につくられた数多くの社会インフラの老朽化とその対策・更新が重要な課題となっており、構造物(施設)の長寿命化や維持・管理マネジメントに大きな関心が寄せられています。特に東北地方のような積雪寒冷地は、構造物にとって厳しい気象環境といえます。私の研究室では、寒冷地域におけるコンクリート構造物を対象とし、老朽化した橋梁の点検・調査、診断、補修・補強などの維持管理に係る研究を進めています。

青森県内陸部や沿岸部など様々な場所における橋梁(建設後、55〜80年)を用いて、現地調査、室内試験等を行っています。調査では、3Dスキャナを用いた橋梁の形状計測やトラックによる静的載荷試験、振動計測、現地で採取したコンクリートコアによる耐久性試験を実施しています。さらに、撤去桁を大学に搬入し、構造棟大型載荷試験機を用いた載荷試験を一般公開で実施もしています。

これらの試験に関しては、各種マスコミの取材も受け、全国版TVで放送されるなど、全国的に注目されている内容であることから、非常にやりがいを感じながら研究活動に取り組んでいます。

今後も継続して青森県内の老朽化した橋梁の調査を進め、さらにデータを蓄積することにより、青森県の気象(供用)環境を考慮した合理的な維持管理手法を提案したいと考えています。

復興に関する体験学習と、国土交通省、青森県、八戸市、八戸工業大学、八戸高専等の被災・復興・教育および研究に関するパネル展示等が開催されました。両日とも、あいにくの天気でしたが、来場者数は2日間約900名でした。中でも、小中学生が興味深く体験学習をしている姿や、年配者がパネル展示をじっくり見学している姿が目立ちました。特に、屋外で実施となった津波体験模型では、寒い中にもかかわらず防波堤効果を体験し、担当者から防波堤の建設方法などの説明を受け、一般市民には知ることの少ない学習を体験していました。八戸圏域水道企業団から本学学生がデザインした特製ペットボトル飲料水や災害時の飲料水タンクが、青森県建設業協会から防災ハンドブックが、参加者に配付されました。



■大学院生紹介(市川達朗・大学院土木工学専攻博士前期課程2年・コンクリート工学研究室)

拓北会 活動報告

土木建築工学科教授 月永洋一

拓北会会員の皆さん、お元気でご活躍のことと思います。最近では Facebook なるものを始め、拓北会会員の何人かの方々とも「友達」付き合いをさせていただいています。「友達」になった会員各位のリアルタイムでの活躍ぶりや、趣味、生活上の話題、またジョークなども飛び交い、実に楽しいコミュニケーションの輪を広げています。なかには卒業以来だという会員とも「友達」になることができ、本当に久しぶりに当時の出来事などが話題になることもあって、とても懐かしくお互いが暖かい気持ちになれ、それができます。私の Facebook では、学科の最新情報や先生方の活躍ぶりなどを掲載していますので、ぜひ「友達」リンクエントを送信してください。みんなで広げよう拓北会会員「友達」の輪」です。

「拓北会平成24年度の主な活動」

以下に平成24年度の主な活動をまとめました。恒例事業がほとんどですが、役員をはじめ、会員各位の精力的な活動によって運営がなされ、また学科の諸活動においてもご尽力をいただいています。

この場を借りて厚くお礼を申し上げます。写真1は、5月26日に開催された総会時の写真です。今後の拓北会の課題等について話し合われ、懇親会ではみなさん大いに盛り上がったと聞いています。



写真1 平成24年5月26日開催の総会出席者

拓北会平成24年度の主な活動

3月19日	3月30日	10月6日	10月6日	9月8日	9月31日	8月20日	8月26日	5月26日	通年
(土)	(日)	(土)	(土)	(土)	(金)	(月)	(金)	(土)	通年
拓北会役員会	土木工学科・環境建設工学科同窓会との協議	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会	土木工学科・環境建設工学科同窓会

「拓北会の今後」

建築工学科は、昭和54年度に第1回生を送り出して以来、平成23年度までの35年度で計3078名の優秀な人材を輩出してきました。平成21年度には、それまでの建築工学科と環境建設工学科(前身は土木工学科)の融合によって土木建築工学科が新設され、平成24年度には新設科の卒業生を送り出しました。このことにより、拓北会と土木工学科・環境建設工学科との同窓会および新設科である土木建築工学科としての同窓会の組織のあり方と今後の運営について拓北会と土木工学科との役員による協議が開催されました。開催日は前節に示したとおり、9月8日(土)と1月30日(水)の2回で、協議した結果は以下のとおりです。今後とも同窓会の運営・活動への協力ご支援ほか、よろしくお願いいたします。

・同窓会は拓北会と土木工学科の両組織を一本化し、新設学科同窓生を含めた新組織とする。

・新組織の名称は、(仮称)土木建築工学科同窓会」とし、会長は夏堀大司氏(土木工学科5回生)、副会長は高橋和雄氏(建築工学科2回生)とする。

・拓北会および土木工学科は解散せず、それぞれ独自に活動するが、同窓会予算は新組織同窓会の運営に充てられる。

「人間力を鍛える設計教育」

これだけ社会が急速に発展し、複雑化・多様化していると、学力や知識だけで社会の中で生きていくことは困難な時代になりました。これまでの生きた経験から学んだ成績優秀であれば、それが評価されて望む職を得、仕事が

できました。しかし、最近の調査などでも明らかなく、企業は求める人材は「学力や知識ではなく、」**「意欲・行動力・実行力」**、**「協調性」**、**「問題解決力」**、**「論理的思考力」**、**「情報化・産業化・消費化・グローバル化社会術の発展」**など重点がおかれています。急速な科学技術の成長は新しい価値を自ら創り出しています。社会の変化に対応して成長していくことが求められていくと、平成8年には「人間力」という言葉が生まれました。人間力は、元東京工業大学学長の末松安晴先生が、日本工業教育協会の委員会で長を務められた時に提示された言葉で、アルフレッド・ノース・ホワイトの著した「The Aims of Education」(1927)に著された「The power of a man to solve a problem」を「人間力」と訳し、ホワイトの主張である「考えさせ、原則を教える、若者の豊富な知識を社会で生きる人の力(人間力)に変えてあげる」が、**「大学教育」**を工学教育の中核概念として取り上げました。力を「力」という文字をつけた「○○力」という新しい言葉を目にする人が多くなりました。これは現在の日本社会が多様な「力(能力)」を要求する時代へと変わつてきたことと表れ、**「人間力」**を求むる時代へと変わつてきたことと表れると思います。人間力が代表されるような力は、どのようの中教育で身につけさせられるのでしょうか？平成20年の教育審議会では学生主体的・能動的な学びを引き出すことが示されました。伝統的な教員一方向の知識伝達を行うような授業形式とは異なり、課題発見・解決型学習やPBL、グループ学習、ディベート、発表型学習、知識や学力を蓄積させるのではなく、それを結び付けて「知識や行動力」を「自己啓発・創造力」に「意欲・実行力」に「チームワーク」に「コミュニケーション」に「意欲・実行力」に「チームワーク」を育成しようとするものです。アクティブ・ラーニングは新しい言葉ですが、工科系の大学では、伝統的に「演習・実習・実験・卒業研究」などの体験型学習を通して人間力が養成されました。しかし、教える側では学生の新しい知識の授養に必要とすることが課題となつており、そのための空間整備も必要とされています。

現在の土木建築工学科では、「建築工学コース」「社会デザインコース」「土木工学コース」の3コース制を設けています。前土木工学科は建築設計教育において人間力を鍛えるためのアクティブ・ラーニングを展開しています。人間力は人々の関わりの中から生まれる力です。拓北会会員の方々は、みなさん大いに盛り上がったと聞いています。今後の拓北会の課題等について話し合われ、懇親会ではみなさん大いに盛り上がったと聞いています。

学匠会 活動報告



「近況報告」

学匠会 23期生 (B科3期生)

吉田 博

皆様、如何お過ごしでしょうか。現在私は社会人4年目として名古屋で働いております。この度、同窓会報誌に掲載いただくという大任を拝させていただきましたので近況報告させていただきます。

私はメタウオーター株式会社という、東は北海道、西は沖縄まで各地の下水処理場・浄水・ポンプ場等、水処理設備の更新工事を行っている会社で、プラントエンジニアとして働いており、受任工事数億円の工事を担当しています。やりがいの多い仕事とは聞こえが良いですが、客先へ向いて資料の説明を行ったり工事の立ち会って問題提起・解決したり施工・設計のための現場調査を行ったりと非常に多忙な日々を送っております。

会社での同期社員は50名程おり、京都大学大学院、早稲田大学大学院、大阪大学、青山大学大学院等、優秀な人たちがばかりで、入社当時は仕事についていくのがやっとの状態でした。

しかし、絶対に会社に結果を出す。との信念を掲げ、入社1年目すぐのゴールデンウィークのときに、恩師である高橋晋准教授と「同期社員はとも優秀な人ばかりだけれど、3年過ぎたら同期社員の誰よりも仕事が出来ようようになります。」と約束しました。

その後、自分自身の仕事の出来なさに日に日々悔しい思いをしながらも、ようやく2年目に入ったというときに初めて担当物件を任せてもらいました。

担当になったのは某市下水処理場の設備増設工事でした。その処理場は、昔から客先(某市役所)がとても仕事に厳しき現場で、うちの会社も他の会社も過去に何度も工事担当者が入れ替わっているような現場でした。

さらにその処理場内の工事が同じタイミングで2件受注されたとき、どちらの技術担当も私になつてしまいました。私と打合せが毎回客先に怒鳴り散らされ質問攻めを受け、気分が落ち込んだときに思い出すのはやはり研究室で一緒に学んだ仲間達でした。「皆も頑張っているのだから自分も負けてはならない」と自分を奮い立たせました。

今の仕事が自分に必要か、どうするかは客先は満足するか、考えており不安に押しつぶされそうでした。と寝ても覚めても考え抜いたすえに出た答えは、「臆病にならず正々堂々と誠実に対応すること」でした。

打ち合わせのときも「客先が何を言いたいのか、何を望んでいるのか」を丁寧に聞き出すように接することで、少しずつ客先の気持ちが分かってきました。勉強して出直してきます。」とはつきり言い、あなた(客先)から学ばせていただきます。」との気持ちで接するよう心掛けました。すると客先も徐々に信頼してくださるようになり、とても良好な関係を築くことができました。

それから現場でのガスガスした空気も消えていき、仕事も円滑に進み、最終的には事故や指摘、クレームもなくこの件と、その他の工事での対応も評価され、今年6月にあつた賞与面談では、上司から「部署にいななくてはならない人材」と言っていた以上、他の社員よりも高い評価をこのとき、「誰よりも仕事が出来ようになる」という恩師との約束を果たすことが出来たと感じました。

様々な経験を通し、確信を得たことは「一番苦労した人が最後は必ず勝つ」ということです。これを読んでも下さっている卒業生の方の中にも、今とても苦しい環境で仕事を必す乗り越えられたいと思つて、強いの一念があれば趣味に没頭してしまつて、社会人になつてから中型・大型バイクの免許を取得して土日や3連休は、いつも大学時代の後輩達とテントと寝袋を持って泊りがけで旅に出ています。今年のゴールデンウィークも、途中フェリーを使い八戸までバイクで帰りました。

どこかの観光地等で見かけた際は是非声をかけて下さい。八戸工業大学で培ったのは単なる勉強、ただでなく、人間同士の絆だと強く感じております。また、一番楽しい時期であり一生残る宝です。

今の学生達にも「後悔しないように研究でも遊びでも、とことんやり抜け！」と強く伝えていきたいです。今後長い人生です。どうせ生きるとなれば楽しいほうが良いと思ひます。

難しい問題に直面しても「どうしよう・・・」と塞ぎ込んでしまうのではなく「さあ、やろう!」の気持ちで日々邁進して参ります。

最後に、八戸工業大学の益々の発展と共に、先生方、卒業生の皆様のご活躍・ご健康を祈念し終わりの挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



近況報告

P科7期卒業生

三浦 安則

同窓会報に寄稿の機会を頂きました、エネルギー工学科7期卒業生 三浦です。

「近況報告」の形で卒業後の自分を振り返らせて頂きます。平成4年卒業で、その頃はバブル後期、学生1名あたり7社程度の求人率があつたと記憶しております。友人たちが

就職説明に出かけ、各社から交通費、記念品を頂いて凱旋しました。戻ってくる中、事情があつて就職先は地元八戸と決まりました。

採用面接で、当時の社長から「君は結婚しているのだね」(前述)事情が「これ」に「はい」と答えて入社が決まり、現職のアルパック東北(株)で勤続22年が過ぎました。現職の会社は、真空装置製造会社で、一般商品は作っておりませんが、卒業生の方々の工場の中のポンプ、生産装置、実験機なども「DIVA」のロゴを見たことがある方もいらっしゃるかも知れません。

入社後、配属となつたのは検査部門でした。お客様が欲しい装置を設計、製作し、検査部門で試運転をしながら、性能が手加え、又は使いたい部分で現職の操作説明をして取扱説明書を作る仕事内容でした。お客様から逃れてはいけない等あり、2年以上も半ば人質と苦勞するほど達成感がありました。辞める事は考えませんでした。家族に負担をかけましたが、辞める事は考えませんでした。

検査部門の仕事が好きで、異動希望も出た事はありませんでしたが、6年程前に、試運転中の機械に腕を挟んで大怪我をしてしまいました。(今は完治)転職の工程管理課という部門に異動しました。受注からお客様への工程管理課という確認と対応決定迄の自社、本社問わず窓口部門で働く時々の検査の値段の応援で出張したりもしますが、窓口にす。元々、装置の値段の応援で出張したりもしますが、窓口にす。す。この作業として、売上を大きくしようにも、自分含めで戦中です。会社の儲けには鈍感となつてしまつており、大苦

り地元就職のおかげもあり、いつ訪問したりも教授の方々、技術員の方々が優しく、研究室で自分の中での研究も、説明のその後に学術的な研究も、仕事を頂いたり思ひました。分をリフレットが煮詰まつた自分。工大が訪問機会があれば、いかに訪問しようかとさせて

近況報告とさせて



株式会社ザックス
http://www.i-zax.co.jp

理化学機器・放射線関連製品・試薬・E7-フィルター等の販売
化学工場及び研究施設の運転・保守、計量証明・化学分析業務 等

八戸営業所 八戸市南郷3丁目1-21
Tel: 0178-73-3620

事業所: 東通村、六ヶ所村、大間、八戸
青森、弘前、北海道

うみねこ会 活動報告

■学科ニュース 武山 泰 学科長挨拶

8年間の永きに渡って務めてこられた栗原先生の後を受け、4月に学科長に就任しました。栗原先生には引き続き嘱託教授として講義・研究室運営にご活躍いただいています。

八戸工業大学は10年目となりますが、最初の5年間は環境建設工学科にいましたので、システム情報工学科は今年で5年目となります。講義では「プログラミング言語」「情報システム論」「システム数理」等を担当しています。卒業研究では、時刻表データを活用した公共交通の乗り継ぎ案内システムなどの交通関連を中心に、ウェブシステムの開発や携帯端末の活用に関するテーマで実施しています。

最後になりましたが、卒業生各位のますますのご活躍をお祈りするとともに、今後ともシステム情報工学科をご支援いただきたくお願いいたします。



■OB・OG近況報告 大山 翔(平成23年度卒業：八戸工業大学)

私は現在、八戸工業大学に事務職員として勤務しています。配属先は入試・広報を担当する入試課です。普段は主に、資料請求者のデータ管理や資料発送、本学HPの入試情報を編集・更新しています。入試課は進学相談会、大学見学会、オープンキャンパス、各入学試験、大学入試センター試験など非常に行事が多く、慌ただしい時期が年中続きます。特に冬から春にかけては入学試験の準備に加え、入学手続の処理で手一杯となり、仕事を消化しきれず大

変な思いもしました。しかし、高校生やオープンキャンパスの学生スタッフなど、フレッシュな世代と触れ合う機会が多いため、活力をもらうことができるのが入試課の魅力です。まだまだ不慣れた業務も多々ありますが、丁寧に指導してくださる上司や先輩方にも恵まれ、楽しく取り組んでいます。今後も今の自分に満足せず、日々成長できるように仕事に励んでいきたいです。



川口 千尋(平成23年度卒業 株式会社パワソルソリューションズ)

私は、株式会社日立パワーソリューションズで働いています。現在は関連会社で実習という形で働いており、列車の運行管理システムの検査をしています。顧客出荷前のソフトの検査が主な仕事内容で、それに関連してレビューの対応や検査方案の作成、顧客対応や現地出張なども行なっています。業務内容を覚えることと並行して列車に関する専門知識も覚える必要があるため大変ですが、実際に通勤で使用する電車のシステムを担当することが出来るともやりがいを感じます。最近1つのシステムを出荷し現地へ出張する機会も多々あるため、実際に使用しているお客様の声を良く聞き、さらに良いシステムをお客様に提供できるように頑張っていきたいと思っています。

九島 新(平成23年度卒業 八戸工業大学第二高等学校)

私は今、八戸工業大学第二高等学校で働いています。教科は情報を担当し、わかりやすく、生徒が楽しめる授業を行うために日々さまざまな方法を模索しています。特に資格取得に力を入れて指導しており、生徒たちの進学、就職に少しでも役立てばいいと思います。日々講習を行っています。昨年から教職に携わり働いてきましたが、初め

はわからないことだらけで失敗を重ね、辛いと感じることもありました。ですが、生徒のために自分は何ができるのかと考えることができたこと、自然と教職という道を選択することができたのは八戸工業大学で出会った先生方のおかげです。これからも、生徒のことを第一に考え行動していくことのできる教員として頑張っていきたいと思っています。





CLOUD





BRAIN

システム開発
スマホアプリ開発
クラウド構築
Webアプリ開発
Webサイト制作
ITコンサルティング

株式会社
ジーアイテック

八戸市大久保字
行人塚7-1
0178-32-0213
gitec.co.jp

■第11回うみねこ会開催案内

毎年恒例のシステム情報工学科同窓会「うみねこ会」を学園祭初日に開催します。今年で10年目を迎え、毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加可能ですので、是非御参加ください。詳細は後日「うみねこ会Webページ」などでお知らせします。

開催日：平成25年10月12日(土)

〈学園祭1日目〉
内容：学内で幹事会、その後八戸市内で懇親会を予定しています。
参加予定教職員：栗原伸夫、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之(他多数)
申し込み先：katsuji@hi-tech.ac.jp
(うみねこ会会長 齊藤克治)

うみねこ会URL：http://alumni.hi-tech.ac.jp/umneko/

感性デザイン同窓会 活動報告

新任教員のご紹介



横溝 賢先生

今年度、感性デザイン学部では、新任の教員として横溝賢先生をお迎えすることができました。先生は、イタリアでデザイナーとして活躍され、日本において様々なデザイン活動をされてきました。先生が着任されたことで、感性デザイン学部にも更に新しい風が吹いています。先生とともに益々学部を盛り上げて参ります。

（横溝先生より）

卒業生の皆様、4月から八戸工業大学感性デザイン学科に着任しました横溝と申します。

私は広告代理店で映画のビジュアルデザインの仕事をした後、ヨーロッパのデザイン、とりわけイタリアン・デザインではミラノのデザイン専門大学院研究機関ドムスアカデミーに留学し、イタリアのデザインプロトタイプを習得しました。卒業後は2008年までミラノを拠点に、グラフィックからプロダクト、都市環境のデザイン・プロジェクトの実務に携わりながらドムスアカデミー大学院コースの助手やリサーチ&コンサルティング機関の外部リサーチチャーターとして仕事をしておりました。イタリアでのデザイン実務では多様な国籍、バックグラウンドを持つ人と一緒に、人や社会の生活文化をより良くするためのデザインについて議論し、グループワークで課題解決を模索することの大切さを学びました。そして、多様な専門家との協働を通して一人では成し得ない創発の飛躍を何度も体験しました。また、近年では国内ではあまり知られていない愛媛県の水引工芸産業（水引とは、結婚式のお祝い金を包む熨斗袋に使われる紙綴り紐のことです。）の活性化を目

的に、パーティで使うテーブルアクセサリーを開発するデザインプロジェクトを実施し、国内外における新規市場の開拓に成功しました。本学では国内外におけるデザイン経験を生かし、国際的に通用する人材の育成および地域資源の研究開発を行なっていきたいと考えております。

■「感性デザインフェスタ」にご支援ありがとうございました

昨年度末の2013年2月9日～11日の3日間の日程で学部として初めて、学外における卒業制作・論文の展示会「卒業展」を八戸ポータルミュージアムはつちにて開催致しました。研究成果や作品のジャムッジを大学内のみではなく、広く地域の方々の新しい視点からしてほしいという思いから学外開催に至ったのです。これは同窓生のみならず同じ思いだったのではないのでしょうか。感性デザインフェスタでは、卒業と同時に1～3学年も授業や課外活動における作品の展示会も行いました。1学年は第2回目となる「絵画展」をNHKハナミズキホールにて絵画授業作品を展示し、2学年はチノノ八戸にて授業や課外活動で作成したアート・デザイン展、3学年はイラストレーションの授業で制作したイラスト展「ビッグ作画時代」をそれぞれ実施しました。また、はつち3階では、学科の教育・研究（講義風景、人材育成、教育成果）や学科で盛んに実施されているコラボデザイン企画をはじめとしたポランティア等の社会貢献活動の展示も行いました。3日間であつちの方々は延べ1,365名となり、同窓生をはじめ、地域の方々の方々にご来場いただきたいことを感謝致します。

この感性デザインフェスタには感性デザイン同窓会より尊いご支援をいただきました。ありがとうございます。心より御礼申し上げます。フェスタの2日目夕方には同窓生も交えた盛大な懇親会が開催されました。現役生と卒業生、教職員が交流できた大変貴重な時間でした。フェスタに関しては様々な反省点もあるかと思いますが、学部にとつては大きな一歩でした。特に、学生達が主体となつて準備から後片付けまでチームワークを発揮できたことが大きな収穫でした。今後も作品展やコラボデザイン

企画など様々なデザイン活動を通して、学部を盛り上げて参りますので、卒業生のみならずご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



感性デザインフェスタ（はつち）



感性デザインフェスタ懇親会にて



感性デザインフェスタ懇親会にて

■感性デザイン同窓会事務局より

感性デザイン学部も早いもので、開設してから9年目となりました。来年度は10周年を迎えます。同窓生のみならず皆様にはいつも温かいご支援をいただき感謝致します。時々、同窓生が感性デザイン棟を訪ねてくれており、現在のご活躍されている話を聞くことができ、教職員一同嬉しく思います。今後是非、顔を見せに来て下さい。

尚、今年度は感性デザイン同窓会の総会開催の年となつております。卒業生を集う会と同日に総会を実施する予定となつておりますので、多数のみならずご参加していただければ幸いです。

同窓会ニュース

工学部5学科全てにJABEE認定コース

4月26日、工学部 バイオ環境工学科 バイオ環境工学コースが工学（融合複合・新領域）関連分野で日本高等教育技術者機構から認定を受けました。これにより、既にJABEEコースの認定を受けていた四学科とあわせ、工学部5学科すべてにJABEEの認定コースを有する事となりました。現在認定を受けている学科（コース）は次の通りです。

- ・ 機械情報技術学科（創生工学コース）
- ・ 電気電子システム学科（電気電子システム専修工
ンジニアリングコース）
- ・ システム情報工学科（システム情報コース）
- ・ 土木建築工学科（土木工学コース）
- ・ バイオ環境工学科（バイオ環境工学コース）

JABEE認定制度とは、大学等の高等教育機関の工農理系学科で行われている技術者育成に関わる教育の認定を行うもので、教育プログラムの内容と水準が、国際的に通用する技術者の教育として適切かどうかの視点から第三者機関によって審査が行われます。なお、JABEE認定プログラムを修了した学生は卒業と同時に修習技術者となり、国家試験である技術士試験資格の第一次試験が免除されます。その後さらに、4〜7年以上の実務経験を経て第二次試験に合格することで技術士の資格が得られます。全学科でJABEE認定を獲得したことは、大学がこれまで取り組んできた技術者教育が第三者機関に認められたもので、さらなる改善に取り組んでいきます。

一方、感性デザイン学部でも、工学部と同様に教育研究環境の向上に取り組んでおり、八戸工業大学は更なる教育の質向上に向けて、改善を行っていきます。

新任教職員紹介

平成25年度より、あらたに採用となりました教職員を紹介いたします。今後ともよろしくお願ひします。



横溝 賢（よこみぞ けん）
感性デザイン学部
感性デザイン学科 准教授

退職教職員

本年3月31日をもって、以下の教職員の方々が退職されました。長い間お疲れ様でした。

- ・ 退職教職員
- 工学部 機械情報技術学科 教授 松崎 晴美
- 工学部 機械情報技術学科 教授 大内 清行
- 工学部 バイオ環境工学科 准教授 貝守 昇
- 工学部 電気電子システム学科 教授 川又 憲
- 学務部 学生課 主事 熊谷 育子

入学金の減免について

同窓生の子女・弟妹が入学した場合の入学金が全額免除となりました。

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象に入学金の一部減免措置を実施しております。

平成25年度入学生まで入学金の一部（175,000）減免でしたが、平成26年度入学生より入学金全額（250,000）を減免し、入学にかかる負担のさらなる軽減を図ることとなりました。

是非、この減免制度をご活用賜りますようお願い申し上げます。

対象：八戸工業大学同窓生のご子女、弟妹
減免額：入学金全額（250,000円）を減免
お問い合わせ先：入試部入試課
電話 0178-2518000（直通）

☆同窓会報への広告募集について☆

同窓会では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で、会報発行に係る経費（印刷および発送費）は同窓生数の増加とともに増え続けています。そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

つきましては、この同窓会報を永続的に発行していくため、経費で多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 同窓会報第20号発行月 平成26年8月中旬
2. 発行部数 約13,000部
3. 広告規格及び金額(カラー:白黒)
 - 1) 1コマ(約6cm×4cm) ￥30,000
 - 2) 2コマ(約12cm×4cm) ￥60,000
 - 3) 3コマ(約18cm×4cm) 応相談
- ※ 広告はページ下段部に3コマまで入れることができます。
4. 申込・問合せ先 八戸工業大学同窓会本部事務局
E-mail dosokai@hi-tech.ac.jp
5. 申込期限 平成26年6月16日(月)
6. 広告原稿提出期限 平成26年6月30日(月)

学校法人 八戸工業大学

八戸工業大学 八戸工業大学第一高等学校
八戸工業大学第二高等学校 さくら幼稚園

〒039-1165 八戸市大字妙字大開 88-1
TEL 0178-25-3111 (代表)

① 1コマ(約6cm×4cm)

地球温暖化対策・環境・エネルギーの

八戸工業大学

www.hi-tech.ac.jp/

〒039-1165 青森県八戸市大字妙字大開 88-1
TEL 0178-25-8000 (入試課)

- 工学部
 - 機械情報技術学科
 - 電子知能システム学科
 - 土木建築工学科
 - システム情報工学科
 - バイオ環境工学科
- 感性デザイン学部
 - 感性デザイン学科

② 2コマ(約12cm×4cm)

同窓会事務局から

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局(学務部学生課)

TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科(機械情報技術学科事務局)

TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科(電気電子システム学科事務局)

TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木工学科・環境建設工学科(シビル会事務局)

TEL.0178-25-8067 E-mail:dosokai-c@hi-tech.ac.jp

建築工学科(建築工学科事務局)

TEL.0178-25-8040 E-mail:dosokai-a@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科(バイオ環境工学科事務局)

TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科(システム情報工学科事務局)

TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科(感性デザイン学科事務局)

TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで電話またはメールで送付先(氏名、現住所、学籍番号または卒業年科)を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号(創刊号)を発行以来、号を重ねて今回も約13,000名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には昨年からの協賛金のお願いをさせていただいております。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方



貴方の整理番号です。

現在、住所が判らず会報誌がお届けできない方々です。ご存知の方は、フリーダイヤルまたはフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお願いください。

携帯電話QRコード

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。変更のある方は、いずれかをご利用下さい。

- ①フリーFAX
 - ②QRコード(携帯電話)
 - ③フリーダイヤル
- ご協力お願いします。

同窓会活動を永続的なものとするため、毎年、協賛金を募っております。何卒ご協力をお願いいたします。お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。



〈お問い合わせ〉

フリーダイヤル 0120 -10-9899 (内線92) 平日10:00~17:00
フリーFAX 0120 -10-9184 24時間受付